平成23年3月期　第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月22日

上 場 会 社 名　パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4283　URL　http://panasonic-denkois.co.jp
代　表　者　(役職名)代表取締役社長　(氏名)前川　一博
問合せ先責任者　(役職名)取締役経理部長　(氏名)丸岡　裕征　TEL　(06)6906－2801
四半期報告書提出予定日　平成22年8月5日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1.　平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年 3月期第1四半期	7,733	△11.4	741	△29.4	759	△27.9	397	△37.1
22年 3月期第1四半期	8,727	5.4	1,051	17.2	1,052	14.7	632	14.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
23年 3月期第1四半期	37.35	―
22年 3月期第1四半期	59.36	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
23年 3月期第1四半期	24,236	19,707	81.3	1,849.48
22年 3月期	25,146	19,658	78.2	1,844.82

(参考)　自己資本　23年3月期第1四半期　19,707百万円　22年3月期　19,658百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
22年3月期	―	32.50	―	32.50	65.00
23年3月期	―				
23年3月期(予想)		32.50	―	32.50	65.00

(注)　当四半期における配当予想の修正有無　:　無

3.　平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第2四半期(累計)	16,500	△9.9	1,990	△16.5	2,000	△16.7	1,130	△20.1	106.04
通期	36,000	△1.8	4,400	0.7	4,450	1.1	2,600	1.4	243.99

(注)　当四半期における業績予想の修正有無　:　無

4.　その他（詳細は【添付資料】P.6「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　　：　無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

②　①以外の変更　　：　有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期1Q	10,656,000株	22年3月期	10,656,000株
②　期末自己株式数	23年3月期1Q	127株	22年3月期	127株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期1Q	10,655,873株	22年3月期1Q	10,655,935株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しならびに計画、戦略、目標などは、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいております。予想に内在するさまざまな不確定要因やこの後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
2.　その他の情報 …… 6
(1) 重要な子会社の異動の概要 …… 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 6
3.　四半期連結財務諸表 …… 7
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 7
(2) 四半期連結損益計算書 …… 9
【第1四半期連結累計期間】…… 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 11
(5) セグメント情報 …… 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
4.　補足情報 …… 12
(1) 受注の状況 …… 12
(2) 販売実績 …… 12

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
・平成22年7月23日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

※上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成22年4月1日～平成22年6月30日）におけるわが国経済は、新興国経済の成長を背景に輸出や生産が伸長し、緩やかな回復基調のもとで推移いたしました。一方、欧州の信用不安や米国・中国の景気の先行き懸念、国内における景気対策効果の一巡などから、持続した回復に向けては不透明感が増しております。

情報サービス産業では、企業の設備投資に下げ止まりの傾向が見え始めたものの、依然としてIT投資抑制傾向は続いていることから、厳しい状況のまま推移いたしました。

このような事業環境において当社グループは、2010年度を初年度とする中期経営計画を策定し、あわせて2012年経営ビジョン「Move to Delight―“満足”を超え、感動をめざして―」を掲げました。当社グループは、この中期経営計画のもと「パナソニック電工グループ外への売上比率35％の達成に向けた展開の強化」「重点顧客とのパートナーシップ強化」「新事業・新技術育成投資と連結売上高営業利益率12％台維持の両立に向けた経営体質強化」の3テーマに取り組んでおります。

①当第1四半期における当社グループの経営成績

	前第1四半期（百万円）	当第1四半期（百万円）	比較増減（%）
売　上　高	8,727	7,733	△11.4
営　業　利　益	1,051	741	△29.4
経　常　利　益	1,052	759	△27.9
四半期　純利益	632	397	△37.1

当第1四半期におきましては、サービス提供価格の下落など厳しい事業環境を念頭におきつつも、中期経営計画達成に向けた基盤整備として営業力強化ならびに開発体制の充実に取り組みました。具体的には、首都圏拠点を移転・拡張し、営業・開発体制を充実いたしました。また、お客さまの「最良・最適」を実現する商品・サービス・ソリューションの提供に努めました。

しかしながら、当第1四半期の売上は77億3千3百万円（前年同期比11.4%減）と、対前年同期を大幅に下回りました。

利益につきましても、コストの削減に継続して取り組んだものの、減販にともなう影響や首都圏拠点の移転にともなう特別損失の計上などから、対前年同期を大幅に下回る結果となりました。

②当第1四半期における取り扱い品目別の状況

取り扱い品目別売上高

	前第1四半期（百万円）	当第1四半期（百万円）	比較増減（%）
a. システムサービス	5,963	5,619	△5.8
b. システムソリューション	1,398	1,026	△26.6
c. システム機器・通信機器関連	1,365	1,086	△20.4

a. システムサービス

売上高は56億1千9百万円（前年同期比5.8％減）、売上高総利益率は18.3％（前年同期は21.1％）となりました。

厳しい経済環境のなか、サービス提供価格の下落が続いた結果、売上高・売上高総利益率ともに前年同期を下回る結果となりました。

b. システムソリューション

売上高は10億2千6百万円（前年同期比26.6％減）、売上高総利益率は23.7％（前年同期は23.2％）となりました。

自社開発の販売管理ソフト、eラーニングシステム、株主総会支援システムのほか、大手通信会社向けWebシステム構築案件や大手製造業向けERPシステム構築案件などが売上に寄与いたしましたが、昨年来続く受注残高の減少の影響もあり、減収となりました。

売上高総利益率につきましては、徹底したコストの抑制に努め、前年同期を上回る結果となりました。

c. システム機器・通信機器関連

売上高は10億8千6百万円（前年同期比20.4％減）、売上高総利益率は20.9％（前年同期は17.5％）となりました。

データ連携ミドルウエアなどの市販ソフト販売やデータバックアップ・サーバセットアップなどの設定作業は好調に推移したものの、機器更新の先送りや買い控えは続いており、サーバなどのシステム機器販売が低調だったため減収となりました。

売上高総利益率につきましては、事業の選択と集中を進めるとともに、高付加価値商品の販売に特化した結果、高水準を維持いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末に比べ9億9百万円減少し（前期末比3.6％減）、242億3千6百万円となりました。これは主に、流動資産で受取手形及び売掛金が19億3千5百万円減少したこと、工事未収入金が1億4千6百万円減少したこと、たな卸資産が1億3千8百万円増加したこと、預け金が3億5千5百万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ9億5千9百万円減少し（前期末比17.5％減）、45億2千8百万円となりました。これは主に、流動負債で未払金が5億2百万円減少したこと、未払法人税等が4億7千3百万円減少したこと、未払費用が3億7千8百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が2億9千7百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ4千9百万円増加し（前期末比0.3％増）、197億7百万円となりました。これは主に、利益剰余金が5千1百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は50億4千2百万円となり、前第1四半期末に比べ4億2千3百万円増加いたしました。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

12億4千1百万円の収入（前年同期比6億1千8百万円減）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益6億9千9百万円、減価償却費3億2千3百万円、売上債権の減少20億8千2百万円、その他流動資産の増加5億4千1百万円、法人税等の支払7億6千万円であります。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

6億1千1百万円の支出（前年同期比1億7千6百万円減）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出4億円、ソフトウエアの取得による支出1億1千1百万円、東京オフィス移転に伴う支出1億4千1百万円であります。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

3億4千6百万円の支出（前年同期比7千3百万円減）となりました。

主な要因は、配当金の支払3億1千7百万円であります。

d. フリーキャッシュ・フロー

上記営業活動及び投資活動の結果、6億3千万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

景気は緩やかな回復基調にありますが、その先行きは不透明感を増しております。したがって、現時点におけるこれらの状況が当社グループの今後の業績に与える影響について予測することは困難であるため、平成22年4月23日発表の業績予想を変更しておりません。

見通しに関するリスク情報

業績見通しは、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。
その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。リスク、不確実性及びその他の要因は、当社の有価証券報告書にも記載されておりますので、ご参照ください。

・ 日本市場の経済状況及び製品・サービスに対する需要の急激な変動
・ 産業界の需要動向
・ 原材料等の供給不足・供給価格の高騰
・ 急激な技術変化等による社会インフラの変動
・ 当社グループが他企業と提携・協調する事業の動向
・ 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
・ 第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
・ 保有する投資有価証券等の資産の時価や繰延税金資産等の資産の評価、その他会計上の方針の変更
・ 地震等自然災害の発生、その他の事業活動に混乱を与えうる可能性のある要素

2.　その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年3月31日）を適用しております。これによる影響はありません。

（重要な減価償却資産の減価償却の方法及び残存価額の見積りの変更）

当社グループは、従来、建物以外の有形固定資産のうち、工具、器具及び備品については定率法で行っておりましたが、当第1四半期連結会計期間から定額法を用いることに変更いたしました。

これは、当社グループにおける有形固定資産の使用実態を調査した結果、定額法を採用した方が使用実態とより整合した費用配分を行えるものと判断したためであります。

また、減価償却後の有形固定資産について除却時点の価値を検討した結果、除却時の附帯費用等を勘案すると売却から得られるキャッシュ・フローは僅少であり、残存価額を、従来の取得価額の5%に変えて備忘価額の1円とすることが、より経営の実態を表していると判断し、変更することといたしました。

この減価償却の方法の変更に伴い、従来の方法によった場合と比べ、当第1四半期連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益は、それぞれ74百万円増加しました。また、残存価額の見積りの変更による影響はありません。

3.　四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	344	388
受取手形及び売掛金	3,976	5,912
工事未収入金	397	543
たな卸資産	281	143
繰延税金資産	309	264
預け金	12,240	11,884
その他	808	286
貸倒引当金	－	△1
流動資産合計	18,359	19,423
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	742	736
工具、器具及び備品（純額）	1,994	1,722
リース資産（純額）	143	154
建設仮勘定	145	565
有形固定資産合計	3,025	3,177
無形固定資産		
ソフトウエア	411	421
リース資産	108	119
その他	304	311
無形固定資産合計	825	852
投資その他の資産		
投資有価証券	748	790
繰延税金資産	60	43
前払年金費用	670	605
その他	574	279
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	2,026	1,692
固定資産合計	5,877	5,722
資産合計	24,236	25,146

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,926	2,223
未払法人税等	317	791
未払金	817	1,320
未払費用	718	340
未払消費税等	107	117
預り金	8	3
賞与引当金	75	196
役員賞与引当金	―	10
その他	248	193
流動負債合計	4,220	5,196
固定負債		
長期預り金	46	47
繰延税金負債	116	67
その他	143	176
固定負債合計	307	291
負債合計	4,528	5,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040	1,040
資本剰余金	870	870
利益剰余金	17,519	17,467
自己株式	△0	△0
株主資本合計	19,429	19,378
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	277	279
評価・換算差額等合計	277	279
純資産合計	19,707	19,658
負債純資産合計	24,236	25,146

(2) 四半期連結損益計算書
【第１四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	8,727	7,733
システムサービス売上高	5,963	5,619
システムソリューション売上高	1,398	1,026
システム機器・通信機器関連売上高	1,365	1,086
売上原価	6,906	6,231
システムサービス売上原価	4,706	4,589
システムソリューション売上原価	1,073	783
システム機器・通信機器関連売上原価	1,125	859
売上総利益	1,821	1,501
販売費及び一般管理費	770	759
営業利益	1,051	741
営業外収益		
受取利息	21	18
受取配当金	3	5
その他	0	0
営業外収益合計	25	23
営業外費用		
支払利息	2	3
その他	21	2
営業外費用合計	23	5
経常利益	1,052	759
特別利益		
固定資産売却益	－	3
特別利益合計	－	3
特別損失		
投資有価証券売却損	－	2
東京オフィス移転費用	－	61
特別損失合計	－	63
税金等調整前四半期純利益	1,052	699
法人税、住民税及び事業税	291	311
法人税等調整額	127	△10
法人税等合計	419	301
少数株主利益	0	－
四半期純利益	632	397

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,052	699
減価償却費	286	323
東京オフィス移転費用	－	61
固定資産売却損益（△は益）	－	△3
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	△1
受取利息及び受取配当金	△24	△23
支払利息	2	3
投資有価証券売却損益（△は益）	－	2
売上債権の増減額（△は増加）	2,081	2,082
たな卸資産の増減額（△は増加）	△290	△138
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△352	△541
前払年金費用の増減額（△は増加）	△55	△65
仕入債務の増減額（△は減少）	△22	△297
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△11	△59
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△4	△11
その他	1	△41
小計	2,662	1,989
利息及び配当金の受取額	32	16
利息の支払額	△2	△3
法人税等の支払額	△832	△760
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,859	1,241
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の預入による支出	△900	△900
預け金の払戻による収入	900	900
有形固定資産の取得による支出	△605	△400
ソフトウエアの取得による支出	△156	△111
投資有価証券の売却による収入	－	36
東京オフィス移転に伴う支出	－	△141
その他	△25	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△787	△611
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12	△29
配当金の支払額	△407	△317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△420	△346
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	651	283
現金及び現金同等物の期首残高	3,967	4,759
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,619	5,042

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自　平成22年4月1日　至　平成22年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年3月21日）を適用しております。

当社グループの事業は、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。したがいまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

当第1四半期における受注高及び受注残高の状況は、次のとおりであります。

①受注高

	前第1四半期（百万円）	当第1四半期（百万円）	比較増減（%）
システムサービス	5,995	5,563	△7.2
システムソリューション	1,152	1,844	60.0
システム機器・通信機器関連	59	54	△9.3
合　　計	7,207	7,461	3.5

（注）1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
2. システム機器・通信機器関連の受注高につきましては、「情報関連工事」のみ記載しております。

②受注残高

	前期末（百万円）	当第1四半期末（百万円）	前期末からの比較増減（%）
システムサービス	852	796	△6.6
システムソリューション	1,564	2,382	52.2
システム機器・通信機器関連	1	6	450.3
合　　計	2,418	3,185	31.7

（注）1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
2. システム機器・通信機器関連の受注残高につきましては、「情報関連工事」のみ記載しております。

(2) 販売実績

当第1四半期における主な相手先別の販売実績は、次のとおりであります。

	前第1四半期		当第1四半期		比較増減（%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	
パナソニック電工グループ	6,290	72.1	5,761	74.5	△8.4
パナソニック電工グループ外	2,436	27.9	1,971	25.5	△19.1
合　　計	8,727	100.0	7,733	100.0	△11.4

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。